



Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) の使用方法

Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用すると、電話機ユーザが TAPS 電話番号にコールして、ユーザの電話番号に関して事前に設定した電話機設定をダウンロードできます。TAPS は、Cisco Unified Communications Manager の管理機能と連動して次の機能を提供します。

TAPS の設定：自動登録機能を使用するすべての電話機について TAPS を使用できるようにしたり、ダミー MAC アドレスを持つ、BAT を使用して追加される電話機にだけ TAPS を限定したりできます。詳細については、「[TAPS の自動登録オプションの設定](#)」(P.80-7) を参照してください。

TAPS の保護：一部の電話番号を TAPS で更新できないように保護できます。詳細については、「[電話番号の保護の設定](#)」(P.80-8) を参照してください。

TAPS のユーザ ロケール：TAPS プロンプトの言語を選択できます。詳細については、「[Tool for Auto-Registered Phones Support のユーザ ロケールの設定](#)」(P.81-1) を参照してください。

次のトピックでは、TAPS の使用、インストールおよび設定について説明します。

- 「[TAPS の概要](#)」(P.80-1)
- 「[TAPS のインストール](#)」(P.80-4)
- 「[TAPS サービスのアクティブ化](#)」(P.80-5)
- 「[TAPS サービスのアクティブ化](#)」(P.80-5)
- 「[TAPS の起動/停止/再起動](#)」(P.80-6)
- 「[TAPS のオプション設定](#)」(P.80-7)
- 「[電話番号の保護の設定](#)」(P.80-8)
- 「[TAPS ログ ファイルの表示](#)」(P.80-9)
- 「[エンド ユーザ用の Tool for Auto-Registered Phones Support 情報](#)」(P.81-3)

TAPS の概要

TAPS のコンポーネントは、Cisco Unified Communications Manager のインストールの一部として Cisco Unified Communications Manager の最初のノードにインストールされます。TAPS が動作するためには、Cisco Unified Communications Manager で、自動登録機能を有効にする必要があります。



(注)

TAPS を使用すると、Cisco Unified Communications Manager 上の自動登録範囲は減少します。TAPS を使用して更新したら、電話機の自動登録済み Directory Number (DN; 電話番号) が未割り当ての DN になります。BAT を定期的に使用して未割り当ての DN を削除し、自動登録範囲を解放する必要があります。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

TAPS アプリケーションは、Cisco Unified Contact Center Express (Cisco UCCX) サーバにインストールする必要があります。TAPS には、ユーザ インターフェイスおよびプロンプトについて Cisco UCCX サーバ上で稼動する Cisco IP Interactive Voice Response (IP IVR) アプリケーションが必要です。

管理者は、新規電話機を設定するための TAPS の使用方法について、エンド ユーザに手順を示す必要があります。エンド ユーザの手順については、「[エンド ユーザ用の Tool for Auto-Registered Phones Support 情報](#)」(P.81-3) を参照してください。



(注)

TAPS を使用して電話機を Cisco Unified Communications Manager データベースに追加しないときは、TAPS サービスを停止することをお勧めします。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.80-10) を参照してください。

TAPS の自動登録オプション

TAPS を使用して自動登録電話機を更新するためには、次のオプションを設定できます。

- MAC アドレスを更新し、事前定義済みの新しい電話機用の設定をダウンロードする。
- 既存の電話機と交換した新しい電話機に設定をリロードする。

以下の項目を参照してください。

- 「[新しい電話機での TAPS の使用方法](#)」(P.80-2)
- 「[設定をリロードするための TAPS の使用方法](#)」(P.80-3)

新しい電話機での TAPS の使用方法

ダミー MAC アドレスを持つ新しい電話機設定が Cisco Unified Communications Manager の管理機能に追加されると、電話機をネットワークに接続できます。システム管理者または電話機のユーザが、TAPS の電話番号をダイヤルすると、電話機にその設定がダウンロードされます。同時に、その電話機の情報も、正しい MAC アドレスを使用して、Cisco Unified Communications Manager の管理ページ内で更新されます。TAPS が正しく動作するためには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、自動登録機能が使用可能になっていることを確認する必要があります。



(注)

TAPS を使用すると、Cisco Unified Communications Manager 上の自動登録範囲は減少します。TAPS を使用して更新したら、電話機の自動登録済み Directory Number (DN; 電話番号) が未割り当ての DN になります。BAT を定期的に使用して未割り当ての DN を削除し、自動登録範囲を解放する必要があります。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

例

100 名の新入社員が月曜日から入社するとします。これらのユーザとその新しい電話機を Cisco Unified Communications Manager の管理機能に追加する必要があります。BAT を使用すると、その 100 台の電話機の電話機テンプレート、および電話機とユーザ用の CSV データ ファイルを作成できます。CSV データ ファイルでダミー MAC アドレス オプションを使用すると、新しい電話機に個々に MAC アドレスを追加する必要がありません。自動登録機能が Cisco Unified Communications Manager で有効になっていると、電話機をネットワークに直接接続できます。システム管理者または新入社員は、TAPS の電話番号をダイヤルし、ボイス プロンプトの指示に従って設定をロードできます。

設定をリロードするための TAPS の使用方法

機能していない既存の電話機を交換する必要がある場合、TAPS を使用して既存の電話機設定を新しい電話機にダウンロードできます。ユーザは新しい電話機を受け取ってネットワークに接続すると、TAPS 電話番号をダイヤルして以前の電話機の設定をダウンロードできます。この処理中、ユーザは設定を変更できません。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、自動登録機能を有効にする必要があります。すべての電話機に対して TAPS を使用するよう設定して、ユーザが既存の電話機設定をダウンロードできるようにする必要があります。詳細については、「TAPS の自動登録オプションの設定」(P.80-7) を参照してください。



(注)

TAPS を使用すると、Cisco Unified Communications Manager 上の自動登録範囲は減少します。TAPS を使用して更新したら、電話機の自動登録済み Directory Number (DN; 電話番号) が未割り当ての DN になります。BAT を定期的に使用して未割り当ての DN を削除し、自動登録範囲を解放する必要があります。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

例

あるユーザの Cisco Unified IP Phone モデル 7940 に、雷雨で回路短絡が発生したとします。このユーザは、新しい Cisco Unified IP Phone モデル 7940 を受け取り、ネットワークに接続します。TAPS の電話番号をダイヤルすると、損傷した電話機で以前に使用していた設定が新しい電話機にダウンロードされます。TAPS により、Cisco Unified Communications Manager の管理ページ内のデバイス情報が自動的に更新されます。

追加情報

「関連項目」(P.80-10) を参照してください。

電話番号の保護

TAPS では電話番号を置き換えることができるため、管理者は特定の電話番号が上書きされないように保護できます。重要な電話番号を保護するには、TAPS の保護オプションを使用します。詳細については、「[電話番号の保護の設定](#)」(P.80-8) を参照してください。

例

電話番号 5000 には、システム用のボイス メッセージ アクセスが用意されています。このような場合、新しいユーザが誤って新しい電話機上で 5000 を設定しないようにします。TAPS の保護オプションを使用すると、TAPS が電話番号「5000」にアクセスできないように指定できます。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.80-10) を参照してください。

TAPS ユーザ用の言語プロンプト

TAPS のユーザ プロンプトを複数の言語で設定できます。管理者は、ユーザが使用できる言語を選択できます。詳細については、「[Tool for Auto-Registered Phones Support のユーザ ロケールの設定](#)」(P.81-1) を参照してください。

英語以外の言語プロンプトを使用する必要がある場合は、クラスタ内の Cisco Unified Communications Manager および Cisco UCCX サーバの最初のノードに Cisco Unified Communications Manager Locale Installer がインストールされていることを確認してから、TAPS をインストール、アップグレード、または設定します。Locale Installer を使用すると、最新の翻訳済みテキスト、翻訳済みボイス プロンプト、各国/地域固有の電話トーン、および各国/地域固有のゲートウェイ トーンを電話機で利用できます。Cisco Unified Communications Manager Locale Installer の詳細については、それぞれの Locale Installer のマニュアルを参照してください。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.80-10) を参照してください。

TAPS のインストール

この項では、TAPS のインストール、再インストール、およびアンインストールについて説明しています。TAPS は、Cisco Unified Communications Manager サーバと Cisco Customer Response Solution サーバの両方と連動します。このインストール手順では、TAPS を UCCX サーバにインストールします。



(注)

インストールする TAPS のバージョンと互換性のある Cisco UCCX のバージョンを確認するには、『[Cisco Unified Contact Center Express \(Cisco Unified CCX\) Software and Hardware Compatibility Guide](#)』を参照してください。

始める前に

BAT 用の TAPS をインストールするための前提条件は、次のとおりです。

- Cisco Unified Communications Manager の最初のノードが設定され、実行されている。
- Cisco Unified Communications Manager の最初のノード サーバの IP アドレスがわかっている。

- Cisco UCCX サーバが設定されている。Cisco UCCX アプリケーションを独自の専用サーバ上に配置できる。
- 各国/地域に合わせて TAPS プロンプトを作成する場合は、必ず **Locale Installer** を使用する。

TAPS を UCCX アプリケーション サーバにインストールする手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** 管理者特権を使用して、Cisco Unified Communications Manager の最初のノード データベースを実行しているシステムにログオンします。
- ステップ 2** [アプリケーション (Applications)] > [プラグイン (Plugins)] の順に選択します。[プラグインの検索と一覧表示 (Find and List Plugins)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [TAPS] のリンクを探し、[ダウンロード (Download)] をクリックして、TAPS_AAR.aar プラグインをローカル マシンに保存します。
- ステップ 4** [アプリケーション (Applications)] > [AAR Management] の順に選択して、UCCX アプリケーション管理ページに TAPS ユーザとしてログインし、[AAR Management] ページから TAPS_AAR.aar をアップロードします。
- ステップ 5** [アプリケーション (Applications)] > [Application Management] の順に進みます。[Application Management] ページが表示されます。
- ステップ 6** TAPS アプリケーションをクリックします。
- ステップ 7** [Cisco_Unified_CM_IP_Address] チェックボックスをオンにして、Cisco Unified Communications Manager の IP アドレスを二重引用符で囲んで指定します。



(注) デフォルトでは、IP アドレスは " " と表示されるため、引用符の間に IP アドレスを入力する必要があります。

- ステップ 8** 次のコマンドを使用して、Tomcat および Cisco Unified CCX Cluster View Daemon を再起動します。
- `utils service "Cisco Tomcat" stop/start`
 - `utils service "Cisco Unified CCX Cluster View Daemon" stop/start`



(注) TAPS_AAR.aar の管理の詳細については、『*Cisco Unified Contact Center Express Administration Guide*』を参照してください。

追加情報

「関連項目」(P.80-10) を参照してください。

UCCX アプリケーション サーバでの TAPS アプリケーションの設定

Cisco UCCX アプリケーション サーバのマニュアルを参照するには、<http://www.cisco.com> の Cisco Voice Applications and Tools にアクセスしてください。アプリケーションの設定方法については、『Cisco Unified Contact Center Express Administration Guide』を参照してください。


追加情報

「関連項目」(P.80-10) を参照してください。

TAPS サービスのアクティブ化

TAPS サービスは、Cisco Unified Communications Manager Serviceability を使用してアクティブ化および非アクティブ化することができます。Serviceability には、適切な URL を使用してアクセスします。サービスをアクティブ化する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager Serviceability にアクセスします。
- ステップ 2** [Tools] > [Service Activation] の順に選択します。
[Service Activation] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** ドロップダウンリスト ボックスから、適切なサーバを選択します。[Next] をクリックします。
- ステップ 4** Unified CM Services リストの [Database and Admin Services] から [TAPS Service] を選択し、[Save] をクリックします。
-  **(注)** サービスがすでにアクティブ化されている場合は、[Activation Status] に [Activated] と表示されます。
-
- ステップ 5** サービスが有効になり、[Activation Status] カラムに [Activated] と表示されます。
-

TAPS の起動/停止/再起動

TAPS サービスは、Cisco Unified Communications Manager Serviceability を使用してアクティブ化されると、自動的に起動します。この項では、TAPS サービスを停止または再起動する手順について説明します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager Serviceability で、[Tools] > [Control Center-Feature Services] の順に選択します。
[Control Center-Feature Services] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [Servers] ドロップダウン リスト ボックスから、Cisco Unified Communications Manager サーバを選択します。

TAPS サービスが Unified CM Services の [Database and Admin Services] カラムの下のリストに表示されます。



(注) 「[TAPS サービスのアクティブ化](#)」(P.80-5) を使用して TAPS をアクティブ化した場合は、[Status] に [Activated] と表示されます。

ステップ 3 TAPS サービスに対応するチェックボックスをオンにします。

ステップ 4 TAPS サービスを再起動する場合は、[Restart] をクリックします。

サービスが再起動し、「Service Successfully Restarted」というメッセージが表示されます。

ステップ 5 TAPS サービスを停止する場合は、[Stop] をクリックします。

サービスが停止し、「Service Successfully Stopped」というメッセージが表示されます。

ステップ 6 停止した TAPS サービスを起動する場合は、[Start] をクリックします。

サービスが起動し、「Service Successfully Started」というメッセージが表示されます。

TAPS のオプション設定

管理者は、Cisco Unified Communications Manager システムでの TAPS の使用方法を選択できます。TAPS の機能オプションによって、電話機の更新や電話プロファイルのダウンロードをユーザがより柔軟に行えるようになります。TAPS のオプションには、次のものがあります。

- 「[TAPS の自動登録オプションの設定](#)」(P.80-7)
- 「[電話番号の保護の設定](#)」(P.80-8)
- 「[Tool for Auto-Registered Phones Support のユーザ ロケールの設定](#)」(P.81-1)

TAPS の自動登録オプションの設定

TAPS の設定オプションを使用すると、Cisco Unified Communications Manager データベースに自動登録する電話機を TAPS を使用して更新できます。次の 2 つの方法が用意されています。

- BAT を使用して追加され、ダミー MAC アドレスを持つ電話機用
- Cisco Unified Communications Manager の管理機能の既存の電話機用

デフォルト設定の場合、TAPS が使用する電話機は、プレフィックス「BAT」で始まるデバイス名で、ダミー MAC アドレスを持つものに限定されます。

TAPS の設定オプションを使用すると、標準 MAC アドレスを持つ電話機も含め、すべての電話機を Cisco Unified Communications Manager システムに自動登録できます。



(注)

TAPS を使用すると、Cisco Unified Communications Manager 上の自動登録範囲は減少します。TAPS を使用して更新したら、電話機の自動登録済み Directory Number (DN; 電話番号) が未割り当ての DN になります。BAT を定期的に使用して未割り当ての DN を削除し、自動登録範囲を解放する必要があります。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

TAPS の設定オプションを設定する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] ウィンドウで、[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] の順に選択します。[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [サーバ (Server)] ドロップダウン リスト ボックスから、適切なサーバを選択します。
- ステップ 3** [サービス (Service)] ドロップダウン リスト ボックスから、[Cisco TAPS Service] を選択します。
- ステップ 4** [パラメータ値 (Parameter Value)] ドロップダウン リスト ボックスで、次の 2 つのオプションのいずれかを選択します。
- [Allow Auto-Registered phones to reset with a profile with a dummy MAC address]
TAPS は、ダミー MAC アドレスがあるプロファイルを持つ自動登録済み電話機だけを更新しません。
 - [Allow Auto-Registered phones to reset with any profile]
TAPS は、プロファイルにかかわらず、自動登録済み電話機を更新します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。ステータス メッセージで更新の完了が示されます。
- ステップ 6** TAPS のオプション ウィンドウに戻るには、[戻る (Back)] をクリックします。

追加情報

「関連項目」(P.80-10) を参照してください。

電話番号の保護の設定

TAPS の保護オプションを使用すると、TAPS でアクセスできない電話番号を指定できます。この機能は、電話番号が誤って別の電話機に割り当てられないように保護する場合に使用します。



(注)

TAPS を使用すると、Cisco Unified Communications Manager 上の自動登録範囲は減少します。TAPS を使用して更新したら、電話機の自動登録済み Directory Number (DN; 電話番号) が未割り当ての DN になります。BAT を定期的に使用して未割り当ての DN を削除し、自動登録範囲を解放する必要があります。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

制限された電話番号を表示したり、制限された電話番号をさらに追加したりする場合は、以下の項を参照してください。

- 「保護電話番号の検索」(P.80-8)
- 「電話番号の制限」(P.80-9)
- 「電話番号に対する制限の解除」(P.80-9)

保護電話番号の検索

制限された電話番号を検索し、一覧表示する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [TAPS] > [セキュア TAPS(Secure TAPS)] の順に選択します。[セキュア電話番号(Secure Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2** [次へ(Next)] をクリックします。
 - ステップ 3** 適切な検索条件を入力し、[検索(Search)] をクリックします。保護された番号がある場合、一覧にそれらの番号が表示されます。
 - ステップ 4** 電話番号をさらに制限する場合は、「電話番号の制限」(P.80-9) を参照してください。電話番号の制限を解除する場合は、「電話番号に対する制限の解除」(P.80-9) を参照してください。
-

追加情報

「関連項目」(P.80-10) を参照してください。

電話番号の制限

TAPS で使用できないように電話番号を指定する手順は、次のとおりです。TAPS は、保護対象の電話番号のリストに含まれる電話番号を使用できません。

手順

-
- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [TAPS] > [セキュア TAPS(Secure TAPS)] の順に選択します。[セキュア電話番号(Secure Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2** [新規追加(Add New)] をクリックします。[セキュア電話番号(Secure Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 3** [電話番号(Directory Numbers)] フィールドに、TAPS から保護する電話番号を入力します。複数の電話番号を入力するには、電話番号のエントリごとに 1 回線を使用してください。
 - ステップ 4** [保存(Save)] をクリックします。

ステップ 5 [セキュア電話番号 (Secure Directory Number Configuration)] ウィンドウに戻るには、ウィンドウの右上隅にある [関連リンク (Related links)] ドロップダウン リスト ボックスから [検索/リストに戻る (Back to Find/List)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。

TAPS は、このリストに示されている電話番号を使用できません。ユーザが、このリスト内の電話番号のいずれかを入力して、デバイス プロファイルの更新を試みると、TAPS は、その要求を拒否します。

追加情報

「関連項目」(P.80-10) を参照してください。

電話番号に対する制限の解除

TAPS で使用できない電話番号のリストから、電話番号を削除する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [TAPS] > [セキュア TAPS (Secure TAPS)] の順に選択します。[セキュア電話番号 (Secure Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 削除する電話番号を検索する場合は、「保護電話番号の検索」(P.80-8) を参照してください。
- ステップ 3** 保護された電話番号のリストから削除する電話番号を選択し、[削除 (Delete)] をクリックします。

追加情報

「関連項目」(P.80-10) を参照してください。

TAPS ログ ファイルの表示

TAPS ログ ファイルを表示する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [TAPS] > [TAPS ログファイルの表示 (View Taps Log File)] の順に選択します。
- ステップ 2** [TAPS ログファイルの表示 (View Taps Log File)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** ログ ファイルの各行に、TAPS のトランザクションが示されます。

追加情報

「関連項目」(P.80-10) を参照してください。

関連項目

- [「TAPS の概要」 \(P.80-1\)](#)
- [「TAPS のインストール」 \(P.80-4\)](#)
- [「TAPS サービスのアクティブ化」 \(P.80-5\)](#)
- [「TAPS サービスのアクティブ化」 \(P.80-5\)](#)
- [「TAPS の起動/停止/再起動」 \(P.80-6\)](#)
- [「TAPS のオプション設定」 \(P.80-7\)](#)
- [「電話番号の保護の設定」 \(P.80-8\)](#) [「TAPS の自動登録オプション」 \(P.80-2\)](#)
- [「TAPS ログ ファイルの表示」 \(P.80-9\)](#)
- [「Tool for Auto-Registered Phones Support のユーザ ロケールの設定」 \(P.81-1\)](#)
- [「エンド ユーザ用の Tool for Auto-Registered Phones Support 情報」 \(P.81-3\)](#)

